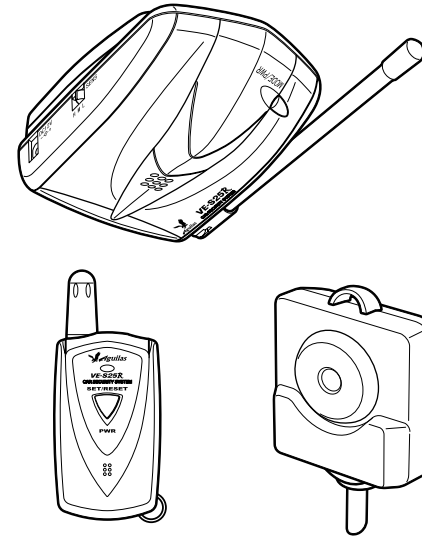




国産12V車専用

このたびは、ユピテルのCARSECURITYSYSTEM「VE-S25R」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は衝撃やドアの開放を検知すると、光とサイレンの組み合わせにより警告・警報を発し、車上あらしや盗難を未然に防止する簡易型防犯装置です。

また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロール用無線設備です。

⚠ 注意

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

目次

はじめに

安全上のご注意	2
ご使用にあたって	3
各部の名称と働き	4

取り付けかた

センサーユニットに専用電池を装着(交換)する	6
センサーユニットを取り付ける	7
ワイヤレスサイレンの取り付け	8

使いかた

センサーユニットを充電する	11
リモコンの電源をON/OFFする	12
通信エリアの確認	13
本機の機能を設定する	14
警戒状態にする	16
警戒中に異常を検知すると(警告・警報/通報)	17
ローバッテリー通知について	17
警戒を解除する(警報停止)	18
リモコンの電池交換	19

その他

こんなときは?	20
仕様	21
アフターサービスについて	22
保証書	裏表紙

● 本機は、ハイブリッド車やオープンカーでは使用できません。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。
また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

⚠警告：警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

⚠注意：注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

- ⚠ △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。
- 🚫 ○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
- ❗ ● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

⚠警告

- ❗ 本機取付時は安全に作業をしていただくため、パーキングブレーキを必ずかけ、バッテリーのマイナス端子を外して作業を行わない…故障や感電など事故の原因となります。
- 🚫 水をついたり、水をかけない。また、ぬれた手でシガープラグの抜き差しや操作をしない…火災や感電、故障の原因となります。
- 🚫 運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。
- 🚫 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。
- 🚫 機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。
- ❗ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に確実に取り付け…誤った取り付けや、不確実な取り付けはケガや交通事故の原因となります。
- 🚫 万一、キャビネットを破損した場合は、すぐにシガープラグを抜き、内蔵電池を取りはずす…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。
- 🚫 サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

- 🚫 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。
- ❗ シガープラグは確実に差し込む…シガープラグが確実に差し込まれていなかったり、異物が付着して接触不良を起こしていると、火災の原因になったり、正しく動作しないことがあります。
- 🚫 煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐにシガープラグを抜き、内蔵電池を取り外して、販売店に修理をご依頼ください。
- 🚫 12V車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
- 🚫 エアバックの近くに取り付けたり、配線をしていない…万一のとき動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、電源コードが妨げとなり、エアバックが正常に動作しないことがあります。

ご注意 電波法について

- センサーユニット裏の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 海外では使用しないでください。
- 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

使用上のご注意

ご使用前にセンサーユニットに付属の専用電池を装着し、3時間以上充電してください。充電は、本機とシガーライターソケットに付属のシガープラグで接続し、車のエンジンをかけて（エンジンキーがACCまたはON）ください。

※警戒状態を長期間保つために、走行中に充電する（常時シガーライターソケットに接続）ことをお勧めします。

- 本機、ワイヤレスサイレンはバッテリーとの接続が必要です。
- ハイブリッド車への取り付けはできません。ワイヤレスサイレンの接続ができません。
- 音圧センサ搭載のカーアラーム装着車とは併用できません。警戒や解除操作でカーアラームが警戒を発することがあります。
- 使用するときは、必ず車のウィンドウを完全に閉めてください。ウィンドウが開いていると、空気の振動や衝撃音を正しく検出できません。（オープンカーでは使用できません）。

■ 強い雨や雹（ヒョウ）などが降ったときや、雨だれが車体にかかっているときには、ウィンドウやボディへの衝撃を検知して警戒する場合があります。また、地下駐車場など空調ファンの振動や音が発生している場所、または、その他の振動や騒音が発生している場所では、警戒を発生する場合があります。

付属品

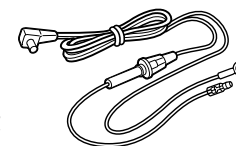
ご使用前に付属品をお確かめください。

- サンバイザークリップ(1)
- タイラップ 200mm(1)
80mm(2)
- シガープラグ(1)
- リモコンスタンド(1)
- センサーユニット用専用電池(1)
- ボタン電池 CR2032(2)
※ボタン電池はリモコンに装着してあります。
- 本書(保証書)

別売品のお知らせ

電源用直結コード
OP-20

シガーライターソケットを使わずに、アクセサリー系端子（ヒューズボックス）から直接電源をとる場合に使用します。（OP-20の他に市販の平型ヒューズタイプ電源取り出しコードが必要です）



本機は、センサーにより異常を検知し、警告・警戒を発する簡易型防犯装置で、盗難を完全に防止できるものではありません。
また、本機の動作の有無にかかわらず発生した盗難事故、イタズラなどによる損害、被害に対しての責任は一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。

センサーユニット

感度設定スイッチ

衝撃(強・弱)感度を3段階から選択できます。
※強衝撃と弱衝撃の感度は連動して設定されます。
(個別に設定することはできません)

DC12Vジャック

(シガープラグ接続端子)
付属のシガープラグを接続して、シガーライターソケットから電源を供給し、センサーユニット専用電池への充電を行います。

ブザー

作動音/警告・警報音を出力します。

5連スキャンニングLED

警戒中・・・左右から順次点滅します。
警告・警報中・・・一定時間すべてのLEDが点滅を繰り返します。

MODE(モード)スイッチ

自動警戒モード・サイレントモードの切替ができます。

音圧センサー(内蔵)

ドアを開けたときやウィンドウ、ボディが強打されたとき、車内の空気の振動と衝撃音を検知します。

ワイヤレスサイレン

タイラップ通し穴

落下防止のため、付属の200mmタイラップを車輛のホースなどを巻きつけます。

サイレン(87dB/m)

作動音/警告・警報音を出力します。

マグネット(背面)

ヒューズ(2A)

赤リード線 2m
バッテリーのプラス端子に接続します。

黒リード線 2m
バッテリーのマイナス端子に接続します。

リモコン

赤外線送信部

インジケータランプ

リモコン操作時や通報時に点灯/点滅します。
弱衝撃・・・2回点滅します。
強衝撃・・・3回点滅を2.5秒おきに30秒間繰り返します。
ドア開・・・4回点滅を2.5秒おきに1分間繰り返します。

操作ボタン

電源のON/OFFや警戒/解除、通報音停止の操作ができます。
※警戒・解除操作はセンサーユニットから最大1m以内で操作できます。
(赤外線式)

ブザー

操作確認音や通報(通知)音を出力します。
弱衝撃・・・『ピュー』が鳴ります。
強衝撃・・・『ピューピューピュー』が2.5秒おきに30秒間鳴ります。
ドア開・・・『ピューピューピューピュー』が2.5秒おきに1分間鳴ります。

内蔵電池

市販のボタン電池で約5ヶ月間使用できます。
※1日8回のセキュリティ操作で1週間に2回の通報(1分間)があった場合
CR2032×2使用
電池が消耗すると、インジケータランプが点滅します。
(←19ページ「リモコンの電池交換」)

シガープラグ

DCプラグ

電源コード
(約3m)

B端子

先端キャップ

ヒューズ(内蔵)

先端キャップを外す
(反時計方向に回す)
とヒューズを交換できます。(1A)

⚠注意



シガープラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガープラグを持って抜いてください。

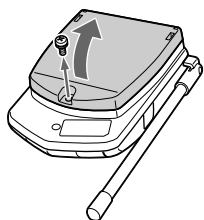
センサーユニットに専用電池を装着(交換)する

本機をご使用になる前に、専用電池をセンサーユニットに装着してください。また、3時間以上充電をしてもすぐにローバッテリーになる場合や充電ができなくなった場合は、センサーユニットの専用電池を新しいものと交換してください。

電池交換目安 約3～5年を目安にしてください(使用状況により異なります)

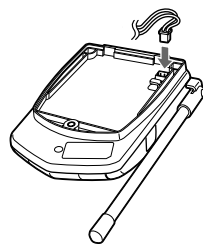
●交換手順

1. センサーユニット裏面のネジをはずすバッテリーカバーのネジを外しバッテリーカバーを外す



※ 本機を分解したり改造することは、電波法で禁止されています。バッテリーカバー以外のネジには触れないでください。

3. バッテリーホルダー内のジャックに電池コネクタを差し込み、新しい電池を収納する



4. コードを挟まないように注意して、バッテリーカバーのネジを締める

2. バッテリーホルダー内のジャックから電池コネクタを抜き、電池を取り外す

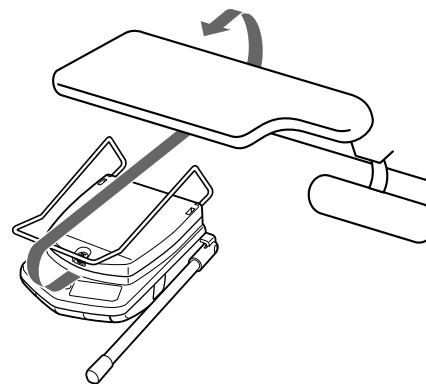
⚠注意

- ! 本機は、専用のニッケル水素電池を使用しています。安全のため、専用電池以外は使用できません。交換用電池は、お買い上げの販売店にご注文ください。

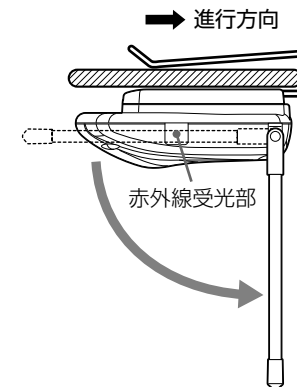
センサーユニットを取り付ける

本機は、付属のサンバイザークリップでサンバイザーに取り付けてください。

- 1 付属のサンバイザークリップをセンサーユニットに取り付け、サンバイザーに挟み込む



- 2 アンテナがなるべく垂直になるように角度を調整してください。



⚠注意

- ! ● 取り付けは、確実に行ってください。落ちたりすると、ケガの原因となります。
- 運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

ワイレスサイレンを下記の手順に従って取り付けてください。

準備

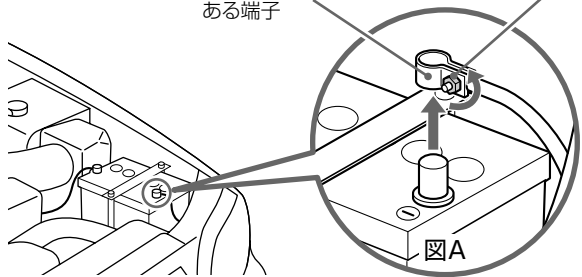
バッテリーのマイナス端子を外す(下図A)

バッテリーのマイナス端子
黒色のカバーや⊖の表示が
ある端子

スパナやボックスレンチ
などでナットを外します。
※ナットのサイズに合った
工具をご使用ください。

ご注意

- バッテリーのマイナス端子を外す前に、車輛の取扱説明書「バッテリーについての注意事項」をよくお読みのうえ、作業を行ってください。車輛装備品(パワーウィンドウやナビゲーションなど)のメモリーが消去される場合があります。詳しくはカーディーラーにお尋ねください。



取付・接続手順1

バッテリーのプラス端子のナットを緩め、ワイレスサイレンの赤リード線を共締めする

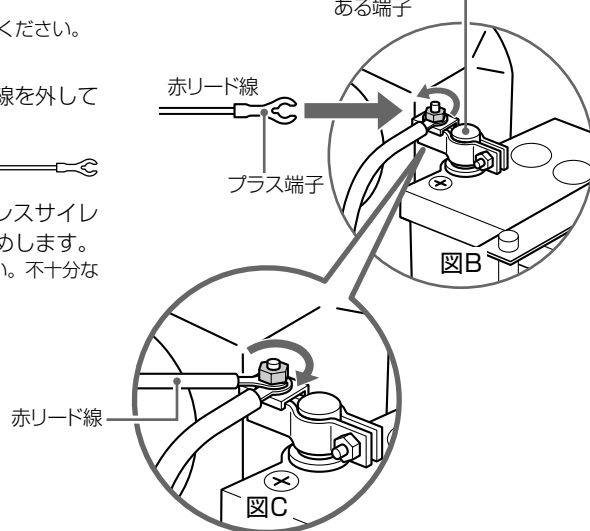
- ① スパナやボックスレンチなどでナット(右図B)を緩める
※ナットのサイズに合った工具をご使用ください。

バッテリーのプラス端子
赤色のカバーや⊕の表示が
ある端子

- ② ワイレスサイレンの赤リード線を外しておく



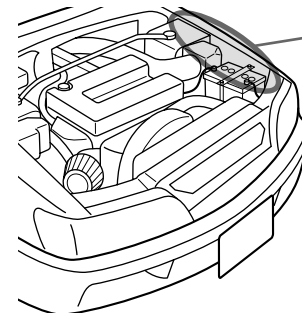
- ③ 緩めたボルト(右図C)にワイレスサイレンのプラス端子を差込み、共締めします。
※しっかりとナットを締め付けてください。不十分な締め付けは、大変危険です。



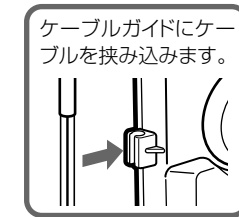
取付・接続手順2

ワイレスサイレンを適当な場所に取り付ける。(磁石で固定されます)

- ① 車輛の側壁にケーブルを下向きにして取り付ける



ケーブルの長さに考慮して、なるべくフラットな
場所に取り付けてください。



ご注意

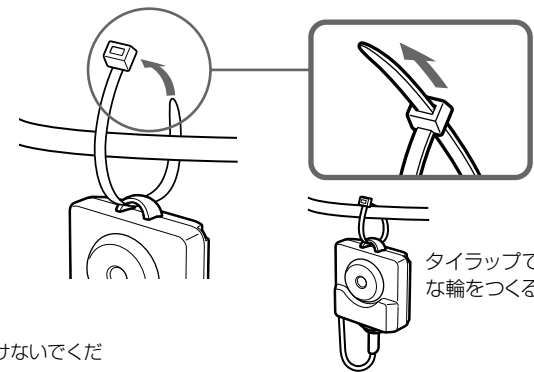
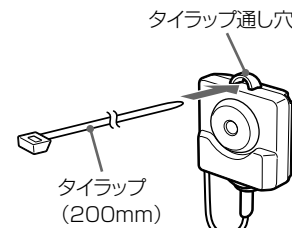
- 直接雨のかかりやすい場所や高温になる場所には取り付けしないでください。
- 取り付けるときは、コード線を下向きにしてください。
- 内部への水の侵入を避けるため、サイレン面やコード線を上向きにしないでください。また、エンジンルーム内を洗浄場合などは、本体をビニールシートなどで覆ってください。
- 取り付け後、エンジンをかけて極端な振動や揺れがないことを確認してください。

- ② 落下防止用に付属のタイラップ(200mm)を車輛のホースなどに巻きつける

タイラップをタイラップ通し穴に
通す。

ケーブルと車輛のホースなどを
輪の中に入れて、タイラップを折
り返す。

ロックがかかるまで差し込み
ます。
ロックがかかると抜けません。

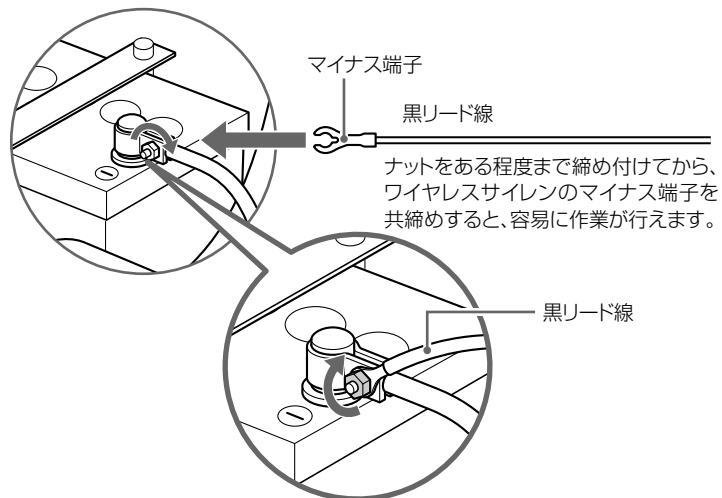


ご注意

- 高温になるホースやパイプには巻きつけないでください。

取付・接続手順3

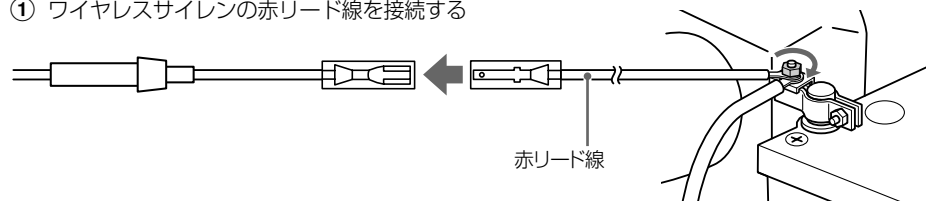
「準備」で外したバッテリーのマイナス端子にワイレスサイレンの黒リード線を共締めして取り付ける



取付・接続手順4

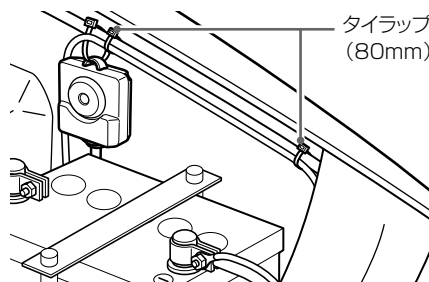
配線を固定する

① ワイレスサイレンの赤リード線を接続する



② ワイレスサイレンのケーブルを既存のホースやパイプなどにタイラップを使用して固定する

※ 車輛のファンやベルトなどに接触しないように適当な間隔で固定してください。付属のタイラップが足りない場合は、ビニールテープなどを使用して固定できます。

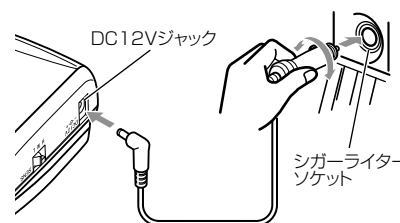


お買い上げ時、センサーユニットの専用電池は十分に充電されていません。初めてお使いになるときや長期間お車をご使用にならなかった場合は、下記手順で充電を行ってください。

※ 12V車専用です。DC 12V以外では使用できません。

1 付属のシガープラグを、DC 12V ジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

差し込みにくい場合は、シガープラグは、2～3回左右にひねりながら差し込みます。



2 車のエンジンをかけて、充電する

本機は、シガーライターソケットに接続しておくことで、車の走行中(エンジンキーがACCまたはON)に充電されます。

* 充電時間の目安

- …電池の状態に応じて急速充電、またはトリクル充電を行い、約3時間でフル充電されます。
- 1時間以上の充電で、本機をご使用になれますが、満充電にはなりません。
- …急速充電は充電電流が大きくなり、ケースの一部が多少熱くなりますが故障ではありません。

⚠ 注意

- シガープラグは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、新しいヒューズ(1A)と交換してください。シガープラグ内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意し、順序を合わせて入れてください。
- 交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグを抜いてお買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

メモ

- シガープラグの形状が合わない場合や、シガーライターソケットに接続したくない場合は、別売OP-20をエンジンキーに連動してON/OFFする電源(アクセサリ電源)に接続して、ご利用ください。常時、電源が供給されている状態では、警戒できません。

リモコンの電源をON/OFFする

お買い上げ時、リモコンの電源はOFFになっています。ご使用前に、電源をONにしてご使用ください。また、ご使用中は電源をONの状態のままで使います。電源を切っていると本機操作や通報の受信ができません。

※長期間お車をご使用にならない場合や、点検整備など第三者にお預けになる場合は電源をOFFにしてください。

●電源ONの手順

操作音『ドミソド』が鳴る
まで操作ボタン押す

インジケータランプが点灯
(0.5秒間)し、リモコンの
電源がONになります。



メモ リモコンの電源がONになっていないと警戒/解除操作や通報を受信できません。

●電源をOFFにするには

リモコンの電源がONのときに操作ボタンを長押し(5秒間)すると、リモコンの電源をOFFにできます。(操作音『ドソミド』)

通信エリアの確認

リモコンで通報(通知)を受信できるエリア(無線が届く範囲)を確認することができます。ご自宅と駐車場が離れている場合など、通信エリアの確認信号が受信できることをご確認のうえご使用ください。

操 作

エンジンキーをOFFに
してセンサーユニット
のMODE(モード)ス
イッチを5秒以上押す

※警戒解除の状態で行います。

センサーユニットから通信エリアの確認信号
が定期的送信されます。(約10分間)



確 認

リモコンから約2.5秒ごとに『ピッ』が鳴り、インジケータランプが点滅します

通信ができるエリア内にいると『ピッ』音が鳴ります。30秒以上音が鳴らない場合は通信圏外です。このような場合は、リモコンの置き場所を移動して確認してください。

※通信圏外では通報を受信できません。

- メモ**
- 最初の通信エリア確認信号の送信から10分経過すると確認信号の送信を停止します。自動警戒モードに設定している場合は、確認信号の送信終了の約1分後に警戒を開始します。
 - 付属のリモコンスタンドにセットしておく
と受信しやすくなります。
 - 比較的、窓際近くは受信しやすい環境にあります。

- 通信エリアの確認中に車輛のエンジンキーがACCまたはONになった場合は定期送信を停止します。
- 通信エリアの確認中に車輛に衝撃やドアの開放など、異常が発生しても通報や警戒動作を行いません。

自動警戒モードについて

お買い上げ時 **OFF**

本機はリモコン操作による警戒のほか、自動的に警戒する自動警戒モードを搭載しています。自動警戒モードをONに設定すると、以下の条件で警戒状態となります。

●エンジンキーをOFFにしてからドアを閉める

ドアを閉めた検出ができると予鈴『ピピッ』が鳴り、5秒後に警戒を開始します。

メモ

- 予鈴はセンサーユニットとワイヤレスサイレンの両方から鳴ります。
- ドアを閉じた検出ができなかった場合(予鈴『ピピッ』が鳴らない場合)や降車しなかった場合は、エンジンキーをOFFにすると約1分後に『ピピッ』(予鈴)が鳴り、5秒後に警戒を開始します。
- 警戒したくない場合は、エンジンキーOFF後にリモコンを操作すると警戒になりません。
(← 16ページ「リモコンを使って警戒(警報停止)する」)

サイレントモードについて

お買い上げ時 **OFF**

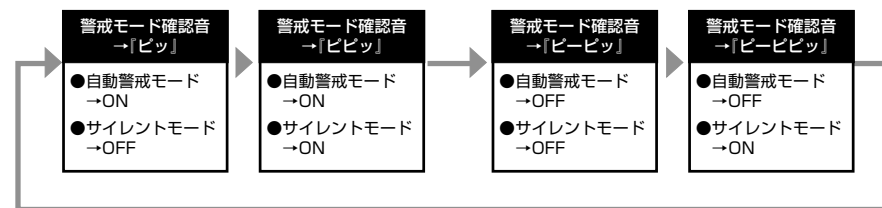
異常を検知した場合でもサイレンを鳴らさない警戒モードです。近所迷惑を気にすることなく、リモコンへの通報およびスキャンニングLEDの威嚇による警戒ができます。

警戒モード(自動警戒モード・サイレントモード)の変更(ON/OFF)手順

エンジンキーをOFF後、センサーユニットのMODE(モード)スイッチを押すごとに警戒モードを変更できます。

※お買い上げ時は、サイレントモードOFFに設定されています。

※警戒モードは設定を変更しない限り、設定したモードで動作します。



メモ

いずれの警戒モードを選択していても、異常検知時には、リモコンへの通報を行います。

衝撃感度の切替

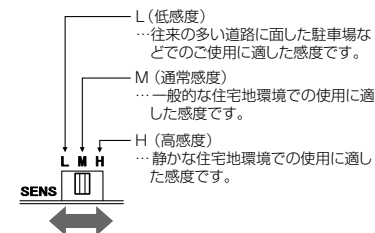
お買い上げ時 **M**

センサーユニット側面の感度設定スイッチで衝撃感度の設定ができます。

※駐車場周囲の環境や車に合わせて衝撃感度を選択してください。

※周囲の環境により頻繁に警報が鳴るような場合は、感度を下げてください。

※強衝撃と弱衝撃の感度は連動して設定されます。(個別に設定することはできません)



自動警戒モードで警戒する

自動警戒モードをご使用になる場合は、あらかじめ、シガープラグを接続して、自動警戒モードをONに設定してください。(➡15ページ「警戒モードの変更手順」)

1 すべてのウィンドウを、完全に閉める

2 エンジン切る

本機はエンジンキーをOFFにすると警戒モード確認音(➡15ページ「警戒モードの変更手順」)が鳴り、警戒可能な状態にあることをお知らせします。



※センサーユニットの電池容量が少ないときはセンサーユニットから『ブブブブブ』が鳴り、警戒できません。ワイヤレスはサイレンは鳴動しません。

3 降車後、ドアを閉める

予鈴『ピピッ』が鳴ります。

※サイレントモードONのときは予鈴が鳴りません。

●リモコン操作または自動警戒モードにより警戒を開始すると・・・

センサーユニット	作動音『ドミソミド』(サイレントモード時は無音)が鳴り、警戒を開始します。スキャンニングLEDがスキャンニング動作をします。
リモコン	通知音『ドミソミド』が鳴り、警戒の開始をお知らせします。(サイレントモード時は『ドミソミン』)
ワイヤレスサイレン	作動音『ドミソミド』(サイレントモード時は無音)が鳴ります。

リモコンを使って警戒(警報停止)する

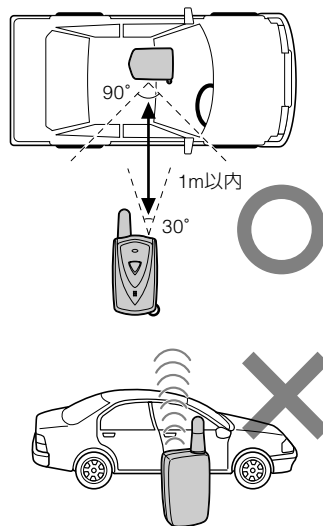
リモコン操作で警戒/解除の切替と警報中の警報音を停止することができます。

リモコンの赤外線送信部をセンサーユニットに向けて操作ボタンを、操作確認音『ピッ』が鳴るまで押す

警戒中は警戒が解除されます。(解除しているときは警戒状態になります)

リモコンの操作範囲

- 運転席側1m以内
- センサーユニットの受光部は概ね下図のように、運転席ドア付近からの信号を受信できます。



■操作上のご注意

- リモコン操作範囲内で操作してください。
※一部の車種では上記操作範囲よりも狭い場合があります。
- リモコンの赤外線送信部をセンサーユニットの赤外線受光部に向けて操作してください。
- センサーユニットの赤外線受光部に直射日光が当たっていると操作できないことがあります。

警戒中にドアが開いたときや、衝撃を検知したときには、次のような動作や通報を行います。

	ウィンドウやボディに弱い衝撃を受けたとき(警告)	ウィンドウやボディに強い衝撃を受けたとき(警報)	ドアが開かれたとき(警報)
センサーユニット	『ビュー』が1回鳴ります。	『ビュービュービュー』が2.5秒おきに30秒間鳴ります。	『ビュービュービュービュー』が2.5秒おきに1分間鳴ります。 ※最初の3回は短い警報が鳴ります。
ワイヤレスサイレン			
スキャンニングLED	2回点滅をします。	3回点滅を2.5秒おきに30秒間繰り返します。	4回点滅を2.5秒おきに1分間繰り返します。
リモコン	通報音『ビュー』が鳴り、インジケータランプが2回点滅します。	通報音『ビュービュービュー』が2.5秒おきに30秒間鳴り、その間インジケータランプが3回点滅を繰り返します。	通報音『ビュービュービュービュー』が2.5秒おきに1分間鳴り、その間インジケータランプが4回点滅を繰り返します。

メモ

- 強い衝撃を検知せずにドアが開かれたときは、警告動作(弱い衝撃を検知したときの動作)を3回繰り返した後、警報動作(ドアが開かれたときの動作)を行います。
- 通報中にリモコンの操作ボタンを押すと、通報音を停止できます。
- 警告・警報後は警戒状態に戻り、再度異常を検知すると警告・警報します。

ローバッテリー通知について

警戒中にセンサーユニットの電池容量が低下すると、リモコンに通知します。
センサーユニットの電池容量が低下していると、警戒を開始できません。

■センサーユニットの電池容量が低下すると...

センサーユニット	リモコン
リモコンに電池容量の低下を通知します。 ※警戒は継続します。	・通知音『ブブブブブ』 ・インジケータランプ2回点滅

■さらに電池が消耗すると...

センサーユニット	リモコン
警戒を解除します。 ・警戒解除をリモコンに通知します。	・通知音『ソミドミン』『ブブブブブブブブ』 ・インジケータランプ2回点滅

⚠注意

- ❗ 電池が消耗してローバッテリー通知があったときは、必ずシガープラグを使って3時間以上充電をしてください。
ソーラー充電では満充電できません。

警戒を解除する (警報停止)

警戒中にリモコン操作またはエンジンキーで警戒を解除できます。

※警報中は警報を停止して、警戒を解除します。

●リモコン操作による警戒解除(警報停止)

操作確認音『ピッ』が鳴るまで操作ボタンを押す。

※センサーユニットの赤外線受光部にリモコンの赤外線送信部を向けて操作してください。

(➡16ページ「リモコンを使って警戒(警報停止)する」)

●エンジンキーによる警戒解除(警報停止)

エンジンをかける(エンジンキーをACCまたはONにする)



●警戒を解除すると・・・

作動音『ソミドミン』(サイレントモード選択時は無音)が鳴り、警戒解除とともにリモコンに警戒の解除を通知します。

リモコンから通知音『ソミドミン』が鳴り、警戒の解除をお知らせします。

※作動音はセンサーユニットとワイヤレスサイレンの両方から鳴ります。

リモコンの電池交換

操作や通報がないのにリモコンのインジケータランプが点滅(4.5秒おきに1回点滅)したら、電池寿命です。早めに新しい電池と交換してください。

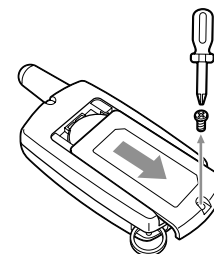
※本機リモコンには工場出荷時、電池を装着してありますが、この電池はモニター用の電池で記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。

電池を交換する場合は下記手順で電池を交換してください。

●交換手順

1. リモコン裏面のネジをはすす

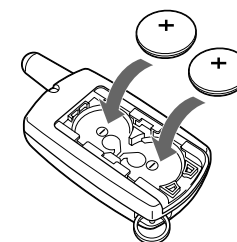
※ネジ、部品の紛失に注意してください。また、ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。ネジのつぶれの原因となります。



2. 電池蓋を矢印方向にスライドさせる

3. 古い電池を取り出す

4. 電池の向きを確認してセットする



5. 電池蓋を取り付け、ネジを締める

6. 操作ボタンを押しリモコンの電源をONにする

操作音『ドミソド』が鳴るまで操作ボタン押すとリモコンの電源がONになります。(➡12ページ「リモコンの電源をON/OFFする」)

⚠ 注意

- 電池の寿命は使用する条件によって異なります。
- 指定の電池(CR2032)以外は使用しないでください。
- 交換するときは、必ず2つとも新しい電池と取り替えてください。また、交換時には電池の向きを間違えないようご注意ください。

⚠ 警告

- 使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。また、事故防止のためリモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

故障かな？と思われた場合や困ったときは、下記をご参照ください。それでも解決できない場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

こんなときは	処 置
エンジンキーをOFFにすると、センサーユニットから『ブブブブブ』が鳴る	センサーユニットの電池容量が低下しています。シガープラグを使って3時間以上充電を行ってください。
充電できない	- 電池が消耗してローバッテリー通知があったときは、必ずシガープラグを使って3時間以上充電をしてください。 - シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
警戒を開始できない(スキャンニング動作にならない)	- センサーユニット内蔵電池のコネクターがはずれていませんか。電池の接続を確認してください。 - エンジンキーがOFFの位置になっていますか。
警告・警戒しない	サイレントモードに設定されていませんか。(☞15ページ「警戒モードの変更手順」)
センサーユニットからの通報を受信できない	- センサーユニットのアンテナの近くに金属(ピラー)などがあると、通信距離が短くなります。金属部より5cm以上離れた場所に取り付けてください。センサーユニットのアンテナの角度調整やリモコンスタンドにリモコンを立て、窓際に置くと通報を受信できることがあります。 - リモコンのアンテナに手を触れていませんか。 - 周囲の電波状況によっては、センサーユニットの電波がリモコンに届かない場合があります。
リモコンで操作できない	- リモコンの電池容量が低下していませんか。(インジケータランプが点滅していませんか)(☞19ページ「リモコンの電池交換」) - リモコンの赤外線送信部を手で塞いでいませんか。 - 赤外線受光部とリモコンがピラーなどで遮られていますか。センサーユニットとリモコンが離れていませんか。操作できる範囲は1m以内です。(☞16ページ「リモコンを使って警戒(警戒停止)する」)
リモコンのインジケータランプが点滅している	リモコンのボタン電池容量が低下しています。ボタン電池を交換してください。
自動警戒モード設定中にガソリンの給油や荷物の積み下ろしなど、警戒状態になっては困る	エンジンキーをOFFにしてから、次のいずれかの操作を行ってください。 - リモコンの操作ボタンを1回押す。自動警戒モードを一時的にOFFにできます。(センサーユニットの赤外線受光部にリモコンの赤外線送信部を向けて操作します) - センサーユニットのMODE(モード)スイッチを押して、自動警戒モードをOFFにする(『ピーピッ』、『ピーピピッ』を選択する)(☞15ページ「警戒モードの変更手順」)
エンジンスターターと併用する場合は	自動警戒モードをON(☞15ページ「警戒モードの変更手順」)にしてご使用ください。警戒中にエンジンがかかる(ACCがONになる)と警戒を解除し、アイドリングが終了すると約1分後に警戒状態になります。

【センサーユニット】

- 電源電圧：DC12V(入力電圧)
- 使用電池：DC3.6V(専用ニッケル水素電池)
- 送信周波数／出力：426.075MHz／1mW以下(電波法適合品)
- 消費電流：充電中…急速充電：約500mA(最大)
トリクル充電：約20mA、警戒中…約1mA、警戒中…約500mA
- 動作温度範囲：-20℃～+85℃
- 本体外形寸法：64.7(W)×35.7(H)×92.8(D)mm(アンテナ部を含みます)
- 本体重量：125g(電池含む)

【リモコン】

- 使用電池：ボタン電池CR2032(2個)
- 電池寿命：約5ヶ月(1日8回操作)
- 動作温度範囲：-10℃～+50℃
- 外形寸法：34.0(W)×60.5(H)×17.0(D)mm(アンテナ部を含みます)
- リモコン重量：28g(電池含む)

【ワイヤレスサイレン】

- 電源電圧：DC12V(入力電圧)
- 消費電流：警戒中…約3mA、警戒中…約500mA
- 警戒音圧：87dB/m
- 動作温度範囲：-30℃～+85℃
- 外形寸法：55(W)×64.5(H)×29(D)mm(突起部除く)
- 重量：140g(ケーブル含む)

※仕様や外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

1. 保証書(本取扱説明書に付いています)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

2. 保証期間

お買い上げの日から1年間

3. 対象部分

機器本体(消耗部品を除く)

4. 修理をご依頼されるとき

「こんなときは？」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名(車種)、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

●保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで保証書とともに、機器一式と電池を取り外してご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理いたします。

5. アフターサービス等について

ご不明の点は

お買い上げ販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

<無料修理規定>

1. 記載の保証期間内に、本書に従った正常な取り付け・接続、使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。尚、本製品を取り付けたことによる車の故障や事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
 - (リ) お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金

5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ (症状をなるべく詳しくご記入ください。
「故障内容」取り付け車種・年式)

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。
※ 保証期間経過後の修理について詳しくはアフターサービスについてをご覧ください。

ユピテルご相談窓口一覧

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

取付、取扱方法に関するお問い合わせ

受付時間 10:00~18:00 (年末年始等、当社指定期間を除く)

●お客様ご相談センター TEL. (0564)45-6515

●電子メールでのお問合せ先 service@yupiteru.co.jp

取扱方法、修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

受付時間 9:00~17:30 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011) 618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022) 284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL. (03) 3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・長野	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052) 769-1601 〒453-0092 愛知県名古屋市中東区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06) 6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082) 230-1711 〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092) 552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

- 上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。